



流山市長 井崎 義治



流山市の概要

市制：昭和42年施行
 人口：213,816人（令和7年4月1日現在）
 世帯数：91,714世帯（令和7年4月1日現在）
 面積：35.32平方キロメートル
 市の木：つげ
 市の花：つつじ
 市の鳥：オオタカ
 特産品：米、あおねぎ、ねぎ、ほうれんそう、えだまめ

流山市は、千葉県の北西部に位置し、東は柏市、西は江戸川を隔てて埼玉県三郷市と吉川市、南は松戸市、北は利根運河を挟み野田市と接しており、都心から25km圏に位置する、水と緑の豊かな自然が息づく住宅文化都市です。

平成17年8月に、市民待望の都心直結の鉄道「つくばエクスプレス」が開業し、秋葉原と約20分で結ばれています。

また、鉄道の開業にあわせ、市内約630ヘクタールで区画整理事業が進んでおり、その進捗と合わせた首都圏広告などのマーケティング戦略により、30代40代の子育て世代を中心に、人口が大幅に増加し、令和5年4月7日には21万人を超えました。



市の鳥「オオタカ」

■ 流山市の健康都市

平成19年に「健康都市宣言」を宣言し、市が推進する全ての政策分野において、健康を意識した政策を推進していく、ヘルス・イン・オール・ポリシーズ「すべての政策で健康を」という理念のもと、健康増進を保健・医療分野だけでなく、環境・まちづくり・福祉・教育・地域社会・文化・スポーツなど、幅広い分野の参加と連携を通じて都市全体で健康都市施策を推進しています。

令和2年度からスタートした総合計画では、目指すまちの姿を「都心から一番近い森のまち」とし、まちづくりの基本理念として「市民の知恵と力が活きるまちづくり」「市民が誇りと歓びを持てるまちづくり」「市民・都市・コミュニティが健康なまちづくり」とし、計画策定時から、健康都市の理念を取り入れた計画として策定しています。

流山市総合計画はこちらを御覧ください。



■ 流山市健康都市宣言

私たちは、WHO（世界保健機関）憲章の精神を尊重して、市民一人ひとりが健康で楽しく、いきいきと暮らすことができることを願い、ここに「健康都市」を宣言します。

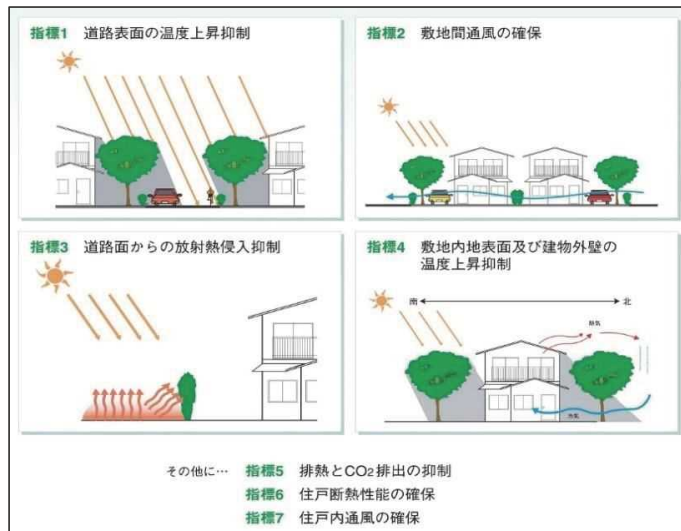
- 一 豊かな自然環境は、私たちの健康に大きなかわりをもっています。これを大切に、共生できる健康なまち流山をめざします。
- 一 一人ひとりが健康の維持・回復・増進に向けた意識をもち、健康で規則正しい生活のおくれる健康なまち流山をめざします。
- 一 多様な分野が連携して、市民参加のもと、地域の中できちんと支えあい、人と環境にやさしい健康なまち流山をめざします。

平成19年1月1日 流山市

■ 健康都市の取組

1. グリーンチェーン戦略

開発事業を7つの指標に基づいて評価し、「緑の価値」づくりの取組を支援し、その取組を連鎖させることで、緑豊かな街全体の環境価値を創造しています。グリーンチェーン認定を受けることで物件の資産価値が向上し、その影響が街全体の価値を高め、社会的な利益にまで及ぶことを目指しています。



(流山グリーンチェーン戦略の7つの指標)

2. 要配慮児童への支援(要配慮児童保育コンシェルジュの設置等)

流山市では、令和6年4月から障害児や医療的ケア児等の要配慮児童の保育園での受け入れ拡充に取り組んでいます。令和7年度からは私立幼稚園においても、支援を大幅に拡充します。



《主な取組・施策》

① 保育園の受け入れ枠の設定・公表

…市内全104園に定員の約6%の要配慮児童枠(1~9人)を設定しています。

② 要配慮児童保育コンシェルジュの新設

…要配慮児童が保育施設へ円滑に入所できるよう、市が雇用した心理士(要配慮児童保育コンシェルジュ)による事前面談や入所後のフォローを行います。

③ 先行審査

…一般枠の入所審査を行う前に、優先的に要配慮児童の入所審査を実施します。

④ 加算措置

…保育園が要配慮児童への加配保育士の雇用や環境整備を行う場合に、要配慮児童1人につき月額10万円(重度区分の場合は15万円)を加算します。

⑤ ワークショップ等の実施

…要配慮児童保育コンシェルジュが加配保育士を対象としてワークショップ等を行い、発達や障害に関する知識や技術の底上げを行います。

■ 流山市では、「流山市を応援したい」というお気持ちをお待ちしています。

詳しくはこちらを御覧ください



流山市は「ちばSDGsパートナー」登録団体です。



担当部局：総合政策部企画政策課 千葉県流山市平和台1-1-1

04-7150-6064

kikakukeiei@city.nagareyama.chiba.jp

